

## 令和7年度「社会実装プロジェクト」及び「社会実装教育フォーラム」に係るクラウドファンディングの成果について

社会実装教育とは、本校が中心となり全国の高専で実践されているプログラムで、イノベーションを実現できる技術者の育成を目指し、「①課題の把握、②提供する価値の考察、③社会に導入し、④評価を得る」ということを社会と繋がりながら繰り返し、自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに社会と協創する重要性を体感する全く新しい教育プログラムです。本校では、この社会実装教育をカリキュラム（科目名「社会実装プロジェクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ」）に導入し、毎年度本科4年・本科5年の全学生（約400名）がチーム単位で地域社会の課題解決に取り組んでいます。

また、平成24年度から毎年3月上旬に、社会実装教育で学生が取り組んだ成果をコンテスト形式で発表する場として「社会実装教育フォーラム」を開催しています。本フォーラムは、東京高専の学生だけでなく、全国の高専から多くの学生が参加する一大イベントです。単に研究発表の場としてだけでなく、教育的観点からそのプロセス（課題発掘からその解決に向けた取り組み全体）を評価され、専門家からの確かなアドバイスを受けることで、学生自身が成長する学びの場となっています。

本校では、令和7年度の社会実装プロジェクト及び社会実装教育フォーラムをご支援いただく目的でクラウドファンディング等を実施し、12名の方から合計210,000円のご支援をいただきました。ご支援いただいた寄附金は、これまで限られた予算で行っていた社会実装プロジェクトのチーム活動費（11,250円）及び社会実装教育フォーラム参加学生旅費支援（支援希望学生30名＝198,750円）に活用させていただきました。

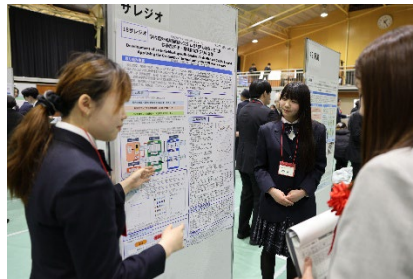
令和8年3月6日（金）・3月7日（土）に開催した社会実装教育フォーラムにおいては、旅費支援を希望する参加学生30名に対して支援を行うことで、学生の旅費負担を軽減することができました。あらためまして、今回のクラウドファンディングの趣旨にご賛同いただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

社会実装教育フォーラムには企業関係者も多く来校されるなど、社会実装教育の取組が注目を集めています。本取組が今後より多くの受託研究や共同研究に発展することが期待されています。

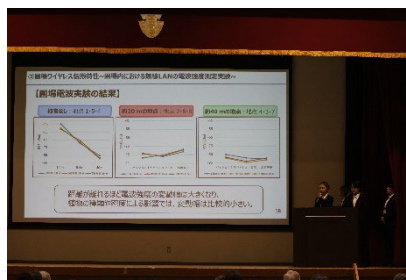
### ■令和7年度社会実装教育フォーラム

- 開催日：令和8年3月6日（金）・3月7日（土）
- 会場：本校第一体育館
- 出場チーム：15高専 49チーム

○ 1日目（ファーストステージ）の様子



○ 2日目（ファイナルステージ・特別講演会）の様子



○ 審査結果

	賞名称	チーム名	タイトル
1	最優秀社会実装賞	34 沖縄	音響AIが導く次世代消火プラットフォーム SOFIA
2	優秀社会実装賞	27長野	下水道水位の常時監視による不明水の可視化と管理支援について
3	社会実装構想賞	11沖縄	宇宙自給のための栽培テクノロジー 宙菜（そらさい）
4	社会実装要素技術賞	12函館	段ボール工場における品質検査工程の省力化システム開発
5	社会実装要素技術賞	37東京	高品位表面創成のための超音波援用きさげ加工工具の開発
6	社会実装社会実験賞	14沖縄	宇宙の知で築く防災エコシステム COSMOS
7	社会実装社会実験賞	38長野	地域防災を支えるスマート水位監視システムの構築
8	社会実装賞	39木更津	小中学校の体育の授業と連携した体験型プログラミング教育ロボットの開発
9	三菱電機ロボット技術賞	34沖縄	音響AIが導く次世代消火プラットフォーム SOFIA
10	安川電機賞	22都城	小型ピーマン探傷装置の開発
11	社会インフラ現場実装賞	14沖縄	宇宙の知で築く防災エコシステム COSMOS

※その他の賞については、社会実装教育フォーラムWebサイトをご覧ください。

[社会実装教育フォーラム](#) | [工業高等専門学校](#) | [独立行政法人 国立高等専門学校機構](#) [東京工業高等専門学校](#)

## ○ 最優秀社会実装賞のご紹介

受賞チーム：34沖縄チーム

参加学生：宮川 琉誠、安室 昊多郎、Nuttanon Deeoam、上間 颯太、前泊 秀虎、大城 悠暉

指導教員：中平 勝也

テーマ名：音響AIが導く次世代消火プラットフォーム SOFIA

概要：工場・倉庫火災における損失は一件あたり100億円以上にも上る。そこで従来の消防技術が抱えてきた「初期消火の遅れ」「消火剤による汚損の二次被害」の二つの課題を同時に解決する次世代の消火プラットフォームSOFIAを提案した。

SOFIAは、AIによって火の早期検出を行い、水や薬剤を使わず音波によって消火を行う。これまでに、音波消火器を新規開発し、近接消火実験を成功させるとともに、火災を自動検出・追尾するAIカメラ、及び火災への自律接近アルゴリズムを実装した小型ドローンの新規開発まで完了している。

社会実装に向けた取り組みとしては、消防署や県庁など現場へのヒアリング、コンテストや展示会での広報活動を行い、SOFIAが社会的に強く望まれていることが分かった。



最優秀社会実装賞を表彰された 34 沖縄チームの皆さん